

募集要項

募集期間	令和6年6月3日(月)～7月31日(水)
受講期間	令和6年8月28日(水)～11月27日(水)
場所	AP秋葉原／東京都台東区秋葉原1-1
募集定員	10社(1社2名まで受講可能) ※応募者多数の場合、ご受講頂けない場合があります。
受講対象	・都内中小商業・サービス事業者の経営者・管理者 ・生産性向上の取り組みを中核的に推進する中堅社員
受講料	50,000円(税込み)／1社(2名まで受講可能)

募集についての詳しい内容はHPでもご案内させていただいております。

案内図

JR 秋葉原駅より徒歩5分

申込み・受講の流れ

1 お申込み・受付

QRコードもしくはURLよりHPにアクセスいただき、申請フォームよりご応募ください。

URL: https://www.tokyo-kosha.or.jp/support/shien/genbakaizen_suishin/school.html

申込締切 7月31日(水)

申請フォームでは下記項目についてご記載ください。

- 生産性向上に向けた自社の課題
- 課題に対する対策(実施済、予定等)
- スクールで学びたいこと、意気込み

※応募者多数の場合には、お申込みの内容をもとに書類選考を実施するため、ご受講いただけない場合があります。

2 受講決定／受講料振込

受講が決定された方には、決定通知をお送りします。決定通知後、開講日までに指定する口座へ受講料をお振り込みください。

3 開講～終了

受講期間は令和6年8月28日(水)～令和6年11月27日(水)です。上記の期間中、8割以上出席した方に修了証を授与します。

※全体の出席率が8割に満たない場合、修了証を発行できないことがあります。



8月28日(水)開講

商業・サービス業のための

時間とお金の
余力を創出!

第3期

東京都サービス
生産性革新スクール

Productivity Innovation School

人手不足に負けず
労働時間を短縮!

浮いた時間とおカネで
新しくチャレンジ!

手厚い
個別アドバイス付!

公益財団法人 東京都中小企業振興公社

総合支援部 生産性向上支援課

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-9
東京都産業労働局秋葉原庁舎5F
● JR[秋葉原駅]中央改札口徒歩1分

TEL:03-3251-7917

E-mail seisansei@tokyo-kosha.or.jp

ホームページ <http://www.tokyo-kosha.or.jp/>

令和6年度5月作成。本紙の内容は予告なく変更する場合がございます。

公益財団法人 東京都中小企業振興公社

「東京都サービス生産性革新スクール」は「商業・サービス業」のための生産性向上を目的としたスクールです。

本スクールは、体系的かつ実践的な研修プログラムです。受講者は、自社の生産性向上につながるフレームワークやデジタル技術の活用について学ぶことができ、業務の大幅な効率化、それに伴う顧客満足度向上や同業他社との差別化について貢献します。

「生産性向上」とは 使える資源(時間とお金)を増やし、新たな取組みを行うことで売り上げを伸ばし、企業を成長させることです。本スクールでは、**商業・サービス業に焦点を当ててムリ・ムダ・ムラを減らして使える時間とお金を増やす**ことに注力しています。

スクールで何ができるの？

SCHOOL ▶01

生産性向上の方法を学ぶことができます。

人手不足を補い、残業時間を減らす方法

社員を巻き込みながら生産性向上に向けた取り組みを推進する方法

業務効率を上げるデジタルツールの導入方法

SCHOOL ▶02

自社の課題と、その改善方法が明確になります。

SCHOOL ▶03

スクールで策定した改善プランを、ハンズオン支援サポートを受けながら実践できます。
※スクール終了後、希望者のみ

本スクールの最終目的 時間や余力を生みだし、新しいビジネスの創出や働きやすい環境を実現

「学ぶ」「考える」「実践する」のサイクルを通して、自分の会社の課題に気づき、解決方法を明確にします。

スクールの構成

生産性革新スクール

生産性向上に向けた改善計画を策定するまでをサポートします！

全10回の講義を通して基本的な知識を体系的に学びます。自社の現状を正しく分析し、課題解決のノウハウを学びます。

講義
学ぶ

1社に1人担当インストラクターを選任。直接、企業を訪問し、講義内容の復習や個別の悩みに応じて分析の仕方や改善計画の策定をサポートします。

個別支援
実践する

自社や自分自身を例にしながら、講義で学んだ分析手法に取り組みます。取り組んだ内容は、次回の講義や個別支援で活用します。

ワーク
考える

スクール修了後、各期の修了生が改善計画の取組み状況や成果を発表し、相互交流をする機会として交流会を実施いたします。

交流会
交流する

スクールで策定した計画を実行する際に、講師、インストラクター等で構成する「現場改善」のスペシャリストによる個別支援が利用できます。改善活動を継続するマイルストーンとしてもご活用いただけます。
※別途お申し込みが必要です。※有料の支援メニューとなります。

現場改善アドバイザー派遣
改善計画の実行をサポートします！

カリキュラム

講義＋ワーク				個別支援
実施日	受講時間	STEP	内容	実施期間
第1回	8/28(水)	13:30～16:30	導入	【第1回目】8/29(木)～9/10(火)
第2回	9/4(水)	13:30～16:30	STEP1 課題の整理・分析	・テーマの検証
第3回	9/11(水)	13:30～16:30	STEP1 課題の整理・分析	・外部・内部環境分析
第4回	9/25(水)	13:30～16:30	STEP1 課題の整理・分析	【第2回目】9/12(木)～9/24(火)
第5回	10/2(水)	13:30～16:30	STEP1 課題の整理・分析	・中間発表会の準備(問題の構造化)
第6回	10/16(水)	13:30～16:30	STEP2 解決策の検討	
第7回	10/23(水)	13:30～16:30	STEP2 解決策の検討	
第8回	10/30(水)	13:30～16:30	STEP2 解決策の検討	
第9回	11/13(水)	13:30～16:30	STEP3 計画の策定	【第3回目】10/24(木)～10/29(火)
第10回	11/27(水)	10:00～16:30	STEP3 計画の策定	・最終発表資料の下書き

講師・インストラクター紹介

岩岡 博徳
Hironori Iwaoka
中小企業診断士/ITコーディネータ
中小企業診断士/ITコーディネータ
全国の卸小売業、サービス業やバックオフィス向けに、DXによる生産性向上についての支援や研修講師をしています。

受講を迷うアナタへひと言
業務効率化は現場改善だけでなく、経営そのものから見直す必要があります。一緒にあるべき姿から考えていきましょう！

河野 博志
Hiroshi Kono
中小企業診断士/MBA(経営学修士号)
中小企業支援に携わり、約20年です。人材の定着率改善、人材育成と人事評価の仕組みの構築等を得意としています。人材不足の時代だからこそ、生産性を向上させましょう。

受講を迷うアナタへひと言
抱えている課題や事情は会社毎・個人毎に異なることをよく理解しているつもりです。一緒に解決していきましょう。

酒井 勇貴
Yuki Sakai
中小企業診断士/経営学修士
“メーカー研究者・ベンチャーキャピタル・ベンチャー経営陣”という3つの経歴を駆使、従業員数から1万人規模まで、業種業態を問わず生産性向上のご支援をしています。

受講を迷うアナタへひと言
先人達が残してくれた改善手法を学び、目が覚めるような生産性向上を実現しましょう！

小早川 渡
Watari Kobayakawa
中小企業診断士/ITコーディネータ
ITツールを活用した「しごとのおくみ」作りを行っています。パン屋での就業経験からの知見も活用し、粗利益への寄与と全体最適を目的とした現場の業務改善を行います。

受講を迷うアナタへひと言
自社のこと、自分のことは、専門家でもわからないものです。失敗も学びになります。スクールで客観的な視点を入れて、まずは試しに改善の第一歩をやってみましょう！

豊島 慎司
Shinji Toyoshima
中小企業診断士/ITコーディネータ/ITストラテジスト
システムエンジニア及びITコンサルタントとして多数にわたる業務を経験。現在は中小企業診断士、ITコーディネータとして、多くの企業のIT活用と経営支援に取り組んでいます。

受講を迷うアナタへひと言
私たちのスクールでは、実際に役立つ技術を身につけることができます。この機会に、新しいステップを踏み出しましょう！

このような方にご受講いただいております！

【受講企業の業種】

情報通信業
その他のサービス業
飲食業
不動産業
建設業
運輸業
小売業
製造業

【役職】

経営者 32%
その他 68%

本スクールは1社2名までご参加いただけます。
おススメのご参加組み合わせ
経営者 & 担当者

過去の受講生の取組みテーマ

■「労働環境の改善・整備」(おしぼりレンタル業)
■「情報共有の効率化/円滑化」(情報通信業)
■「お客様からのクレームゼロを目指す」(専門サービス業)
■「従業員のモチベーション維持・向上」(建設業)
■「受注時間を短縮したい」(製造業)
■「お得意様をふやしたい」(小売業)

受講生からの声

40代 運輸業 次長
慢性的な人手不足(現場と管理とで慢性的に認識に相違)や、属人化していて非効率な業務を改善したいと思い、参加しました。(受講してみても)「本当に現場が困っていることは何か」を深掘り・分析することができ、改善につなげることの重要性を認識しました。

50代 小売業 経営者
アプリの有効活用、オープンAIの活用、受発注業務の効率化、EC店舗の登録や管理の簡略化、生産管理の見直しがしたいと思い、参加しました。(受講してみても)やりたくてもできなかったことに取り組みきつかけとなり、改めて自身の業務見える化の重要性と実現方法がわかりました。個別支援を受けた結果、社員のモチベーションアップにもつながり、効果を実感できています。

40代 飲食業 経営者
「飲食をはじめ生産に携わる方は受講するべき」です。いかに生産性を上げるかは、知識と実行力。知恵をいかに出せるかで業績が変わる。売り上げが上があれば、おのずと給料にも反映できるので良い方向性に動くと思います。

30代 生活関連サービス業 所長
もともと「生産性向上」についての知識がほとんどないところから講義を受けました。特に「なぜ」を繰り返して最終的にゴール(答え)を導き出すという考え方を学んだことが印象的で、この考え方はスクール修了後の今の業務にも生かされています。